

No10 乾燥した土地に暮らす人々 p 30 ~ p 31

本日のミッション

雨が少なく乾燥した所で、人々はどのように暮らしているのでしょうか。

1 サヘルの人々の暮らし

アフリカ北部の広大な(1)の南に接して、わずかに木や草が生えた土地が見られます。この地域はサハラ砂漠を大海原に見立てて、アラビア語の「岸边」を意味する(2)と呼ばれています。

サヘルには、サハラ砂漠を縦断して物資を運んだり、(3)ややぎの(4)などを行ったりしてきたトゥアレグ族をはじめ、さまざまな(5)が暮らしています。

2 乾燥した大地

サハラ砂漠の中心部ほどではありませんが、サヘルはとても乾燥していて雨が少ない地域です。サハラ砂漠やサヘルのような地域を(6)と呼びます。ここでは、(7)、強い日差しがあり、風が少し吹くだけで乾燥した大地から砂ぼこりが巻き上がります。

サハラ砂漠では、地下水がわき出る(8)以外、樹木はほとんど育ちません。しかし、サヘルでは少ない雨を利用し、乾燥に強い(9)や(10)、もろこしといった穀物を作ってきました。ここで行われてきたのは、わずかに木が生えた草原を焼きはらって畑を造り、焼いてできた灰を肥料として活用する(11)でした。

3 変化するサヘルの生活と環境

ブルキナファソの主食は、ひえやもろこし、(12)などの穀物ですが、(13)の整備などにより、(14)も普及してきました。代表的な料理は、粉状にした穀物から作る(15)や、野菜の煮込み、羊や鳥のくし焼きです。

いつもより雨が少ない年が何年も続くと、今まで植物が生えていた地域でも植物が育たなくなります。また、人口が増えて大量の作物や家畜、燃料が必要になると、土地を休ませずに(16)を続けたり、たきぎなどを切りすぎたりすることがあります。このようなことが続くと、草も育たないやせた土地になってしまいます。これを(17)といいます。現在、(17)を防ぐために、かまどを改良して、たきぎの消費を減らしたり、(18)をしたりするなどの活動が行われています。

本日のミッション 達成できましたか？ (yes no)

No11 常夏の島で暮らす人々 p 3 2 ~ p 3 3

本日のミッション

気候の変化が少なく、一年中暑い所で、人々はどのように暮らしているのでしょうか。

1 自給自足に近いフィジー

南太平洋にある(1)は、大小およそ 330 の島からなる国です。(1)で最も大きな島である(2)には、(1)の人口の半分以上が暮らしています。

(2)の山の中には、フィジー人が住む集落が数多く、人々は(3)に近い生活を送っています。住居は(4)などで造られ、屋根は(5)でおおわれています。畑では主食になる(6)、(7)、(8)などが栽培されています。また、にわとりや豚などが(9)にされています。この地域では、いもや肉を蒸し焼きにした料理がよく食べられます。

2 いつでも豊富な果物と作物

フィジーの気温は一年を通しておよそ 25℃と高く、季節の変化がほとんどありません。このような地域を(10)と呼びます。熱帯にあるうっそうとした森林を(11)といい、その中には(12)や(13)、(14)などの果物の木も自然に生えています。(15)、(16)ため、作物は一年中育ちます。山の周りの丘には、(17)、(18)などの大規模な畑も広がっています。さとうきびからは砂糖が、ココヤシの実からはマーガリンやせっけんなどの材料になる(19)が作られており、それらはフィジーの重要な輸出品です。

島国のフィジーでは、(20)も重要な産業です。市場には果物や野菜に加えて、新鮮な魚介類も並びます。日本もフィジーから(21)などを輸入しています。

3 さんご礁と観光開発

熱帯のフィジーでは、島の周辺に(22)が発達しています。このように美しく豊かな自然を求めて、ニュージーランドやオーストラリアなどから多くの(23)がやってきます。観光の中心は、ビチレブ島の北西に並ぶ小さな島々ですが、(24)によってさんご礁や(25)が破壊されるといった問題も起こっています。

本日のミッション 達成できましたか？ (yes no)

No12 標高の高い土地に暮らす人々

p 3 4 ~ p 3 5

本日のミッション

山の急な斜面で、人々はどのように暮らしているのでしょうか。

1 山を登り下りする生活

南アメリカの(1)中央部ににある(2)には、(3)の差を利用して暮らしている人々がいます。ここでは住居が標高(4)付近にありますが住居の周りは寒くて作物が育たないので、リャマや(5)といった、ラクダの仲間の家畜を(7)しています。住居よりも標高の低い場所で(8)、それよりさらに低く温暖な場所で(9)を栽培しています。一つの家族が1000 m以上もの標高差のある農地を持っている村もあります。山の登り下りをするときには、荷物を(10)にのせて運びます。

2 標高によって異なる環境

山では標高が上がるにしたがって気温が(11)。そのため、高山地域では、同じ緯度の標高が低い地域よりも気温が(12)。このような高山地域に見られる特有の気候を、(13)といいます。また、(14)に近い地域は、一年の気温の変化があまり見られないという特色があります。そのため、赤道に近いアンデス山脈中央部にあるペルーは、一年を通して気温の変化があまりありません。このような気候であるため、ペルーの高地には木が少なく、住居は(15)や石で造られています。入り口は小さく、窓もありません。リャマやアルパカを飼っていますが、これらの家畜を食用にすることはあまりありません。アルパカの毛で(16)や(17)が作られ、高地の寒さや風を防ぐために利用されています。また、リャマやアルパカのふんは、燃料や肥料にも使われています。

3 ゆるやかに変化する暮らし

高地に住む人々の生活は、(18)が広まり、(19)が変化したことによって、ゆるやかに変わってきました。今でも舗装道路は少なく、道路事情が良いとはいえませんが、以前よりは整備されて、(20)が通る村も増えました。さらに、(21)が通ったり、(22)が整備されたりした村も見られるようになりました。このような地域を訪れる外国からの(23)も、少しずつ増えています。

本日のミッション 達成できましたか？ (yes no)